

お知らせ

確定申告の時期です。早目に申告の準備をしましょう。税金相談など分からないことがあれば組合まで。
2月1日現在組合員数…2,100名



発行所
東京土建一般労働組合
南部ブロック会議
品川区戸越5-18-2
☎(3783)0471
代表者 井澤典一
定価 1部 50円
(購読料は組合費に含まれています)

2020年拡大 1%実増勝ち取る

はじめに、2020年
仲間を増やす活動にご協
力いただきありがとうございます。
さいました。
わが品川支部も見事に
3年振りの年間実増
を達成することができ、
2021年1月1日現勢
も2116名となり、本
部目標の『1%実増』を
も、達成することができ
ました。
昨年、突如として訪
れた新型コロナウイルス
のため、拡大運動が難し
い年でした。
はじめて、2020年
は止めることが大事です
が、仲間を増やすことは
止められません。
訪問活動はできません
でしたが、電話掛けなど
を中心とした声かけなど
を通じて、仲間同士のつ
ながりを切らずに拡大
運動に取り組んだ成果の
賜物です。改めて感謝申
し上げます。
さて年が明けて202
1年、いまだにコロナウ
イルス感染拡大の収束の
目途が立たない中、春一

組織部長

関口 浩助



田村厚労大臣の原告団 への謝罪(原文) 2020年12月23日

建設労働者の皆様の防塵マスクの着用
の義務付け、さらには当時義務付け書、
これは国が規制権限を有しながら、これ
を行使しなかったということで、東京高
裁の判決が確定したということでござい
まして、大変重く我々受け止めていた
き、深くお詫びを申し上げます。重
ねて心からお詫び申し上げます。

今後この判決をしっかりと受け止めさせ
ていただいて、適切な対応を我々として
は取らせていただきたいというふう
に思っています。今日は皆さま方からお話
を聞かせていただく中から対応の参考に
させていただきたいと思っております。
で、どうかよろしく申し上げます。重
ねて心からお詫び申し上げます。

最高裁は国の 上告を棄却

【労働対策部発】

2020年12月14日、

最高裁第一小法廷は、建
設アスベスト「東京一
陣」において、国の上
告を受理しない決定を
しました。

これにより、東京高裁
判決「賠償額(22億8
千円)・二人親方の救
済」が確定するととも
に、最高裁で初めて『国
の賠償責任』が認めら
れ、国の敗訴が決定し
ました(被告企業12社への
責任については今後の審
理)。

建設アスベスト訴訟
は、アスベスト建材の使
用により、肺がんや中皮
腫(ちゅうひしゅ)など
の病気になった仲間が立
ち上がり、国と建材メー
カーが中心になるかと思
いますが、各分会で知恵を
集めて、やり方を工夫し
ていただきたいと思います。

昨年と同様に電話掛け
が中心になるかと思いま
すが、各分会で知恵をし
集めて、やり方を工夫し
ていただきたいと思います。

2008年5月16日
に、東京地裁で提訴した
のを皮切りに、7地域で
12の訴訟へと広がり、全
国で闘っている原告は約
1100人(品川支部7
人)であります。
訴訟から12年、この間、
多くの仲間が無
念の思いを抱え
たまま、お亡く
なりました。原
告・遺族は、そ
の遺志を引き継
ぎ、たたかって
きました。
今回の最高裁
の判決は、原告
側の主張の正し
さを全面的に認めたもの
であり、大きな確信とな
るものです。
しかしながら、最終目
的は裁判に勝つことだけ
ではありません。
全てのアスベスト被害
者を救済するための補償
基「建設石綿被害補償基
金制度」を創設し、裁判
に頼らない救済制度を確
立することであり、さ
らなるご支援・ご
協力をお願いする次第で
あります。



田村大臣に解決要求書を手渡す

建設アスベスト訴訟 品川支部の原告の皆さん

第一陣

故・茅野 芳郎

(原告・茅野 明)

故・神田 猛

(原告・神田 香)

第二陣

故・館野 哲夫

(原告・館野 純子)

第三陣

故・奥田 一夫

(原告・奥田サヨ子)

故・村松 雄三

(品川分会)

故・小林 稔

(原告・小林 智子)

故・大野 健吉

(原告・吉田 充子)

建 前

品川区内のど
の地域でも近く
にコンビニはあ
ります。全国
には5万5千店
舗あるそうです

◆しかし、神社の数は、
それより多い8万社以上
あるそうです◆神社の数
を都道府県別でみると、
2位の兵庫県より断トツ
に多い新潟県は、470
0社余りの事、何故か
と思いましたが◆明治時代
日本で人口が最も多かつ
たのが新潟県で、当時、
日本の人口・4千万人の
約5%の約180万人が
住んでおりました◆江戸
時代、稲作に適した気候
という事や、北海道と大
阪を結ぶ北前船航路の繁
栄により、太平洋側より
日本海側の方が豊かであ
った事、明治初期の日本
の人口の9割近くが、農
業に従事していた時代、
米の収穫量の多い新潟県
に人が集まったとの事で
す◆従って、人の交流が
多くあり、信仰の多様性
が生まれやすかったのだ
でしょう◆今と違って気軽
に遠方に行けないため、
共同体も細かく分かれ、
地域のコミュニティセン
ターとしての存在として
神社がありました◆時の
明治政府は、全国の神社
を合併させる合祀政策を
推し進めたため、それ
には消極的だったため、
令和においても、神社数
全国1位が新潟県とい
うことになりました。
教宣部長 野村 和好

